

## 平成28年度第2回総合教育会議

- 1 日 時 平成28年11月14日（月曜日）  
午前10時00分～午前11時00分
- 2 場 所 市役所本庁舎1階 第2委員会室
- 3 出席者 市長 星野 光弘  
委員 小野寺 巧  
委員 箕輪 菊雄  
委員 五十嵐 洋太  
委員 大久保 春美  
委員 森元 州
- 4 署名委員 委員 大久保 春美  
委員 森元 州
- 5 説明職員 教育部長 山口 武士  
教育政策課長 林 みどり
- 6 事務局職員 総務部副部長兼秘書広報課長 水口 知詩  
秘書広報課主事 柳 茉利
- 7 傍聴者 0人
- 8 議 事  
(1) 富士見市教育大綱の策定について

## ○星野市長

おはようございます。本日は第2回の総合教育会議ということで、教育委員の皆様方には、お忙しいところお集まりいただきまして、心から御礼を申し上げたいと思います。8月20日の市長就任以降、一度、教育委員の皆さんと懇談をさせていただいて以来、ということでございます。また、地域の文化祭やお祭り等でも皆様と顔を合わせているところでございますが、こうした形で、私が市長に就任してから初めての総合教育会議ということで、ご案内させていただいたところでございます。この間、教育につきまして、後期基本計画の見直しの作業も同時に並行して動いております。この中では、私が市長に就任するに当たり、教育にかける想いを、各部局、もちろん教育委員会の皆さんにも、協議をさせていただいて、基本計画並びに平成29年の予算に反映できるものはしっかりやろうということで、指示を出させていただいているところでございます。「スクスク子育てと確かな教育は富士見市で」というのが私の教育にかける1つの方針、スローガンでございます。ご理解いただきたいと思います。そして、教育分野においては、いわゆる一義的に、小中学校の教育については、しっかりと充実をさせたい。これはハード面と、そして特には、子どもたちの学力を向上させたい、という想いを私は強く持っているところでございます。また、幅広く、問題、課題がございます。特には、いじめのない学校を作っていくこと。今日も午後から、いじめのない学校づくり子ども会議に参加させていただく予定でございますが、こうした取り組みが既に富士見市で行われているということは、心強く思っておりますし、さらには、こうした考えを子どもたちの協議、発表というところで、全体の意識として、子どもたちがしっかりと胸に刻むという会議だと理解をしております。午後の会議には大変期待をしているところでございます。また、テレビや新聞報道などでは、貧困、虐待というような子どもたちを取り巻く、本当に目を覆いたくなるようなニュースが飛び込んでまいります。こうしたものを見聞きすると、本当に心が痛くなります。こうしたお子さんを私たちは作りたくありませんし、富士見市からこうした状況を排除したいと強く思っているところでございます。学校と福祉とが連携しなければならぬ現実があるということについては、しっかりと心に置いて、対応させていただきたいと思っております。このような、貧困や虐待という問題についても解決に向けて頑張らなければならないと思っておりますし、子ども未来部におきましては、貧困対策ということで、対応する計画作りに着手しているところでございます。県下ではまだ取り組んでいるところは無いようですが、これも、部局を横断し、教育委員会の皆さんや各部長の皆さんとも意見交換をしたり、またはアンケートを実施したりするなど、そのように先駆けて取り組んでいる計画でございますので、また皆さんにお示しをさ

せていただいて、ご議論ができればと思っているところでございます。とにかく、富士見市の希望ある、未来を担う子どもたちを育てる教育を施すということが、我々の責任だと思っております。こうした総合教育会議、または教育委員会の皆さんの議論を、市長部局と教育委員会と、しっかりと手に手を取って、この問題、課題に果敢に取り組んでまいりたいと考えております。その、スタートとして、まずは今日の総合教育会議をお願いしたところでございます。ぜひ、皆さんとこれから良い議論をさせていただいて、前へ進めさせていただければと思います。この総合教育会議での良き議論をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

### ○水口秘書広報課長

ありがとうございます。本日説明員としまして、山口教育部長、林教育政策課長が出席しておりますので、よろしくお願いいいたします。それでは、今後の進行につきましては、星野市長にお願いをしたいと思っております。よろしくお願いいいたします。

### ○星野市長

ただいまより、平成28年度第2回総合教育会議を開催いたします。その前に、本日の会議録署名委員を指名いたします。会議録署名委員には、大久保委員と森元委員を指名いたしますので、よろしくお願いい申し上げます。

本日は、富士見市における教育大綱の策定について議論していただきたいと思っております。まず、私から、最初に口火を切らせていただきたいと思っております。平成27年4月1日、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、総合教育会議の設置と、大綱の策定が義務づけられました。首長と教育委員会という対等な執行機関同士が協議や調整を行い、地域の教育の課題や、あるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図る場としてこの場が設けられたわけでございます。また、大綱の策定についてですが、こちらは現存する「教育振興基本計画」をもって代えることができるようになっており、昨年4月に開催した第1回総合教育会議において、委員の皆様との協議の結果、本市の大綱については、「教育振興基本計画」をもって代えるということで進めさせていただいております。

そして、冒頭申し上げましたとおり、8月20日より市長に就任をさせていただきまして、教育につきましては、私の「ふじみ☆ビジョン21+」の中にも重きを置いたつもりでありますし、しっかりと重点的な政策を打ち込んでまいりたいと考えているところであります。そこで、教育振興基本計画につきましては、大きく施策を進行するという意味合いを持ってありますが、その基本

計画の見直しの時期にも重なっておりますことから、私の考えといたしましては、教育大綱という、いわゆる、「富士見市の教育かくあるべき」というようなところで、策定をさせていただきたいと考えております。冒頭のご挨拶でも申し上げたように、大きく顕在化している問題、課題は多くございますが、大綱の中で、普遍的に、我々が子どもたちに、地域に、これは教育ですから、生涯学習やスポーツ振興、芸術などもございますが、心としてしっかりと持つべきもの、そして富士見市として教育はこういうものをもってして施すべきだ、というような表現をさせていただきたいと考えておりました、キーワードでいくつか申し上げたいと思っております。

まず1つ目は、「人づくり」です。この中には、子どもたちが、富士見市で育ち社会へ羽ばたいていく基礎や基本、知徳体というような表現をされますけども、こうしたものを身に付けていただく。その中には、確かな学力、または社会規範性、こうしたものを子どもたちに身に付けていただきたいと思いますと強く思っております。もう1点は、言葉の表現が間違っていたらお許しをいただきたいんですが、親御さんの、子どもたちに関わりすぎる部分、あまりにも親御さんの狭い見方の中で、子どもたちを捉えているのではないか。その、あまりにも関わりすぎることによって、社会規範性であるとか、または自己責任とか、こういったものから子どもたちが少し外れたところにあるのではないか、という思いを持っております。やはり、生き抜く力というものは、人は人によって磨かれるという言葉もございますが、こうしたものを富士見市から育ていく小中学生の皆さんに身に付けていただくということを、私は強く感じております。

2つ目。ずっと我々は、この言葉を抱いておりますが、「地域・学校・家庭の連携」です。私もPTA会長の時代から、こうしたキーワードでそれぞれの政策なり、想いを具現化しているところでございますが、よりこの連携というものを強くしていく必要があるだろうと。人づくりのところで申し上げましたとおり、家庭、家族、こうしたものが弱くなっているという現状は教育委員の皆さんもお感じになっているところだと思います。教育や行政が家庭にまで関わるといことは、あまり良しとしない、と私は考えますが、しかしながら、ある部分においては、ここを何らかの事業なり政策をもって施さなければならぬと感じております。大多数のご家庭のお子様たちはすくすくとお育ちになるんだろうと思いますが、ある部分においては、こうしたものを捉えていかなければならない状況が、今の社会に、子どもたちに、あるのではないかと感じていまして、こうした連携、または支援という形のほうが良いんでしょうか、家庭や家族にも我々は目を向けていかなければならないのかなと強く感じているところであります。

3つ目は、「教職員への支援」です。これは、教育委員会として、教職員の皆

さんをしっかりと支援していくということです。良い教育を行っていただくためには、良い環境作りをと。学校のハードはしっかりと整えましょうと。そして、そこでご活躍いただいて、子どもたちと向き合っていただく先生方をしっかりと支援をしたい、このように思います。それは先生方の資質や技術の向上と、もう一方で、この表現で言うと、市や教育委員会が先生方を支援するという見方になっていますが、もうひとつ、保護者の皆さんにも、学校や先生を支援していただくと。もっと簡単な言葉で言えば、応援をしていただこうと。ご自分のお子さんの担任の先生に対して、良い先生になってほしいというのは、これは誰もが願うことではありますが、例えば若い先生であれば、親御さんのご支援をいただいて、先生を学級経営の中で、またはそれぞれの科目の中で、教育をできるという環境が、やはり親御さんの立場からも作っていただく、こういうことは考えられないだろうかと思っております。単純に、教育委員会や市長部局が先生方を支援するというだけでなく、保護者の皆さんにもこうしたことを訴えていくことはできないだろうかと考えています。

4つ目のキーワードはやはり、「命」ということをございます。いじめによって命を落とす子ども、自己実現できなくて、命を落とさずとも、暴力に走るだとか。東松山市、または川崎市でもございました。こうした「命」に対する教育は、私が特別な経験を持っているせいもございますが、子どもたちの命を守るということと、または子どもたち自身が自分の命を大切にすること、それは人に優しくすることにも繋がります。そしていじめの防止にも繋がるんだろうなと思っております。

こうした4つのキーワード、想いを少し語らせていただきましたが、こうしたものを、教育大綱として表現できないだろうかと考えておりました。今日皆さんの前でお話をするということで、私なりにキーワードとしてまとめてきたものを表現させていただきました。この後、皆さんと議論をさせていただいて、より良い教育大綱を作りたいと考えております。ただ、私自身も、キーワードで表現をさせていただいたところをございますので、様々な議論を通じて、作り上げたいと考えております。少し長くなりましたが、お話をさせていただきました。以上でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

ここで、委員の皆さんからも、それぞれのお考えの中から、ご発言をいただければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

## ○小野寺委員

市長さんの熱い想いを聞かせていただきました。お話を聞いた直後なので、どうかこうとかというのは、すぐには思いつかないのですが、熱い想いを十分に受け止めさせていただきます。この方向で、ぜひ富士見市の教育の根本

となる方針を綴って、子どもたち、保護者、教職員、そして地域の人々が一丸となって、子どもたちを育てていけるような環境整備をしていきたいと思えます

### ○五十嵐委員

先ほど市長からあげていただいたキーワードの中からは、「人づくり」という部分で、今の子どもたちは人と関わることを拒否する部分が多々あるのかなと感じています。そういったところを変えていかなければ良くはないと思いますし、一部の保護者なんだろうけども、学校に対して、行政に対しても、期待する部分がすごく薄れているというのを、言い方悪いですけど、冷めている部分を感じ取れるので、そういった部分を変えて、計画を立てていかなければいけないのかなと感じました。

### ○大久保委員

今日資料として配っていただいた、「埼玉教育の振興に対する大綱」を読ませていただきました。それから、市長さんの熱い言葉を受けての私の意見なんですけれども、教育というのは子どもたちだけではなくて、富士見市で言えばすべての市民の教育に関する大綱ですよ。子どもたちの環境も、学校だけではなくて、地域であって。学校であれば、保護者であったり先生であったり、主にそういう人たちが周りにいる。でも、学校から出て地域に帰れば、あらゆるいろんな人たちが近くにいるわけですし、いろんな組織や団体や様々な人たちが。そういう中で子どもたちが健やかに育って、市長さんがおっしゃったような、きちんとした社会規範からモラルを含めて身につけて、良い大人になっていくべきだと思います。社会の中での大人たちも、正直言って、ずいぶんモラルの低下とか、社会規範の欠如だとか、そういうものを感じるんですけども、やはり子どもも大人もそれぞれが関わりあってこそ育っていける。大人は大人でまだまだ育つ可能性もあるわけですし、そういうしっかりした社会性の高い環境を富士見市が作っていく、そういうことも必要なのではないかなという風に感じています。埼玉県の大綱も、いきなり子どもたちへのメッセージから入っているけれども、でも中身は、大人も含めてすべての県民なんだろうから、その辺の柱がずれてしまうと、大綱も中身のポイントがずれてしまうのではないかなという気がします。富士見市の教育振興基本計画の表紙にあるスローガン、「学びあい 人がつながり 一人ひとりが輝く 富士見の教育」というのは子どもだけでなく、大人たちも含めて、切磋琢磨しながら人間性を高めていこうというのが柱にあるので、ぜひこれから新たな教育大綱については、対象については、しっかり子どもも大人も含めたすべての市民というのをわかるような

形で示していただきたいなと感じています。

## ○箕輪委員

大久保委員が今言われた点に共感するんですけども、学校教育と社会教育が車の両輪という言葉で言われてきていると思うんですが、やはり大綱はその観点に立って構成していくのが良いのかなという風に思っています。それと、今市長が述べられた4つの点は、基本的には方向性としてはそれで良いと感じました。

何点か細かく見ていくと、1番目の「確かな学力」という点で、全国の学力一斉調査とか、県の学力調査が行われているんですけども、その結果をどう活かすかという点と、それから一人ひとりの学力の向上を確実に保障する、財政も含めた支援体制というか、その辺が必要だろうなという風に思っています。「子育てするなら富士見市で」というスローガンで今まで来ていますが、子どもたちが豊かに学力を身に付けていく保障というか、学校教育が当然中心になると思うんですけども、併せて家庭での状況を含めると、教育だけではいかない側面もあるので、福祉も含めた市長部局での関わり合いの中で、学力をどう保障するかという点で、ぜひ連携を強めていく必要があるのかなと思っています。

続いてちょっと飛びますが、3点目で、「教職員への支援」ですけども、保護者が先生方の応援団だなんて、非常に良い考えだと思うんですけども、ぜひそういう訴えをしていきたいなと思いつつ、逆に先生の方からも、応援団になってほしいということが気楽に言えるような仕組みづくりを学校の中で作っていく必要があるんだろうなと思うんですよね。実際に先生をやっていると、保護者の応援団があるということが、何よりも力強い支えになっていくのだなと、僕自身も実感したこともありますし、そういう方向性をぜひ強めていっていただきたいなと思います。

それから、家庭や家族の関係が弱くなっているという指摘ですけども、いろいろテレビ等のニュースを見ていると、先ほど言われた、暴力によって命を落とすのを含めて、家庭で子どもたちを育てられないというか、所在が分からないというようなことも、けっこう出てきているし、先日NHKの報道でやっていたんですが、病院は治療を要する人でないと入院できないんだけど、仕方なく幼児を病院に置いたままで、そこで先生方が合間を見て世話をしている。家庭に帰ると、体重が激減して、また病院送りになって、繰り返されている。そういうのが全国的にけっこうな数でいるというのが、僕も初めて知ったんですけれども。所在がはっきりしているということが基本なのですが、子育ての観点で、家庭での連携では、ちゃんと行政サイドが、この子は健全に育ってい

るというのがチェックできる体制と繋がりをもっと作っていくかというのが、非常に大切になってくるだろうなと感じました。

### ○森元委員

教育振興基本計画の見直しの時期に、市長さんのほうで大綱をお作りいただけるということで、大変期待しております。特に、教育に対する市長さんの熱い想いを、どこかで語っていただければ、より具体的に進めやすいですし、私どもが教育振興基本計画を策定する指針を、示していただければと思っておりますので、ぜひよろしく願いいたします。

もうひとつは、教育というのは、市長さんのお話の中にもあったように、不易と流行と言いますか、時代が変わってもずっと変わらないものもありますし、時代とともに変わらなくちゃいけない部分もありますので、その辺を当然グローバル化、ICT化というのは、流行ということで変わっていきますでしょうし、親とか家庭とか家族という永遠に変わらない部分もありますので、教育委員会も市長部局と連携していかなければならないと思っております。しかし、いずれにしても、予算の編成権は市長さんにございますので、ぜひこういう会議とか、いろいろな計画に基づいてご判断いただいて、より教育が振興するようにお力添えいただければと思います。

また、家庭とか地域の力というのは、やはり弱まっているなという現状もありますけれども、もしかすると、学校という力はそれを再生する拠点としても貢献しなければいけないんじゃないかなと思っておりますし、教育委員会とともに、健康福祉部や子ども未来部をはじめ、あらゆる部局と横串を刺していくことが、解決の近道になっていくと思っておりますので、ぜひ総合教育会議等を含めて、より連携できればと思っています。

### ○星野市長

ありがとうございます。私が先ほど挙げさせていただいた4つのキーワードですが、だいたい小・中学校教育のところに特化したお話をいたしました。どうしてもそこに想いがあるものですから、大久保委員からご指摘いただいたところについては、しっかりと総合的な富士見市の教育ということでもありますので、文化芸術、スポーツ、または生涯学習、社会教育という部分についても、逆に言いますと、私の弱いところでもございますので、そこは皆さんと一緒に議論させていただいて、しっかりしたものになりたいなと思っております。

勝手な私のイメージなんですけど、長々としたものではなくて、シンプルな表現を用いたいなと思っております。様々な他の市、町、県の教育大綱を見させていただいた中では、私どもはこの立派な教育振興基本計画がありますので、次



の年度の見直しの視点として、方針として位置づけられるような大綱でありたいということを考えておりますが、その辺はいかがでしょうか。

## ●一同賛成

### ○星野市長

もう1点、提案なんですけど、総合教育会議に参考人の招致をしたいと思っております。どなたというアイデアはまだございませんが、30分程度、本会議において、教育に対する想いを語っていただく。私たちの研修的な意味合いを含めて、ゲストスピーカーをお呼びしたいなと思っております。問題、課題を共有しながら、新たなヒントを頂戴できるような方をお選びして、お呼びしたいと考えております。その点はいかがですか。

## ●一同賛成

### ○星野市長

これは、ご推薦いただいてもけっこうでございますので、また今後のスケジュール案をお示ししたいと思うのですが、その間の中で、お呼びしたいと考えております。よろしく申し上げます。

それから、スケジュールですね。やはり期間、目的を持って対応したいと考えておりますので、ちょうど私の就任が今年の8月20日からということで、平成29年の8月、9月を目途としたいと思っております。また、そのことによつて、教育振興基本計画の見直しの時期に間に合わせていくということが必要であろうと考えますので、これは案でございますが、お配りをさせていただいたスケジュールについてご意見をいただければと思います。では、お配りしました案について、事務局から説明をさせていただきます。

### ○水口秘書広報課長

お手元にお配りした、「富士見市教育大綱の策定スケジュール（案）」ということで、図式化して、お示しをさせていただきました。先ほどお話のありましたとおり、教育振興基本計画の見直しの時期も重なっているということも加味し、考えております。市長が今年の8月に就任されまして、約1年後には、大綱を策定したいというような考え方から、このようなスケジュールを決めさせていただいたところでございます。

本日、11月に、第2回の総合教育会議がございまして、大綱を策定したいという意思の表明を市長からいただきました。その後、12月、1月くらいに

は、大綱の素案の検討ということで、市長部局と教育委員会の事務局と、共同で大綱の素案を作成させていただきます。2月、3月頃に行うであろう、平成28年度第3回総合教育会議では、大綱の素案をお示しさせていただきます。この総合教育会議の中で、討議、協議をしていただきたいと思いますと考えております。さらに、その討議、協議を経まして、4月頃には、大綱（案）の検討、作成を事務局でさせていただきます。5月、6月の平成29年度第1回総合教育会議で大綱（案）のお示しをさせていただくという予定でございます。その後、この案が了承されれば、大綱の策定になるわけですが、またご意見をいただきまして、最終的には、9月の第2回総合教育会議で、最終審議をお願いして、策定、完成をしたいということでございます。市長の方からお話しをいただきました、参考人の招致ですとか、勉強会、講演会等の開催につきましては、この間に計画をし、対応させていただきたいと思っております。

上の表につきましては、富士見市の教育振興基本計画が平成29年度で完了するというので、第2次の教育振興基本計画に伴う検討等が始まるということでございますので、大綱の方も意識して策定をしていただければありがたいかなと思っております。富士見市の教育大綱につきましては、皆さんご承知の通り、首長の任期が4年ということから、概ね4年から5年程度の期間として定めることを想定してございまして、平成32年度くらいまでに、次期の見直し、随時の見直し、それ以降の策定の見直しということも加味して計画をしたいということでございます。なお、目標が達成できなければ、そのままずっと計画を継続して使用するということになるかなと思っております。このような形で、スケジュールを定めさせていただいたところでございます。

#### ○星野市長

お示ししましたスケジュール案についてご意見をいただければと思います。若干タイトかなと思っておりますが、教育振興基本計画との関わりがございしますので、概ね来年の9月を目途にということで作らせていただきました。

#### ○箕輪委員

素案が作成されてから、第3回総合教育会議までの期間はどれくらい見ることが出来ますか。我々も素案をいただいて、ここでいきなりというよりは、少し検討したいなと思うのですが。

#### ○星野市長

もちろんです。その辺は柔軟に対応いたします。あくまでも素案でありますし、足りない部分、膨らませたい部分というのはあると思っておりますので。総合教

育会議の日程も、2月、3月とか、5月、6月ということで、2か月間の中でどこかということで、これは3月の終わりにやるということでも良いわけですので。そして、できましたら、素案の議論の前に皆さんとお話したいと考えておきまして、総合教育会議ではなくて、懇談のような形でも結構なのですが、私としても少しタイトかなと感じていますので、フリーな議論ができる場を1回作ってもいいかなと思っています。素案を作る上でも、そうした場面があると思っています。その後、3回目の2月、3月に行う総合教育会議の中で、ゲストスピーカーにおいでいただき、教育に関するお話をいただくのが良いかなと思っています。素案作りについては、我々でたたき台を作り、かつ総合教育会議ではなく、懇談の場面で一度意見を交換させていただく。そして、2月、3月で議論と勉強会をとということで、前半戦、精力的に対応したいと考えています。他にご意見、ご質問いかがでしょうか。

#### ○森元委員

大綱の期間は、何年までになるのですか。

#### ○水口秘書広報課長

ここにお示しさせていただいた中では、あえて日にちは書いてごいませんが、市長の任期が平成32年8月19日ということがございますので、その辺りをひとつの目安としまして、見直しのタイミングを考えています。

#### ○森元委員

富士見市の教育振興基本計画が5年間で、国も5年程度の教育振興基本計画ということで、それに市長さんの任期もあるので、4、5年ということですね。

#### ○星野市長

では、ご意見ご質問については、開かれた総合教育会議でありたいと思いますので、いつでもご意見があれば、しっかりとお聞きして、議論ができればと思います。立ち話でも何でも、お話を伺えればと思っておりますので、これからの大綱の策定に向けて、ご理解とご協力をお願い申し上げたいと思います。

それでは、本日予定しておりました協議事項が終了ということで、皆様の貴重なご意見に心から感謝申し上げまして、総合教育会議を閉じたいと思います。市長部局と教育委員会と一体となって、大綱の策定、またはこれからの政策推進と一緒に頑張って張りたくと考えております。これからも引き続きよろしくお願いを申し上げまして、終了とさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

上記会議録の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成29年1月16日

会議録署名委員 市長 星野 光弘

委員 大久保 春美

委員 森元 州